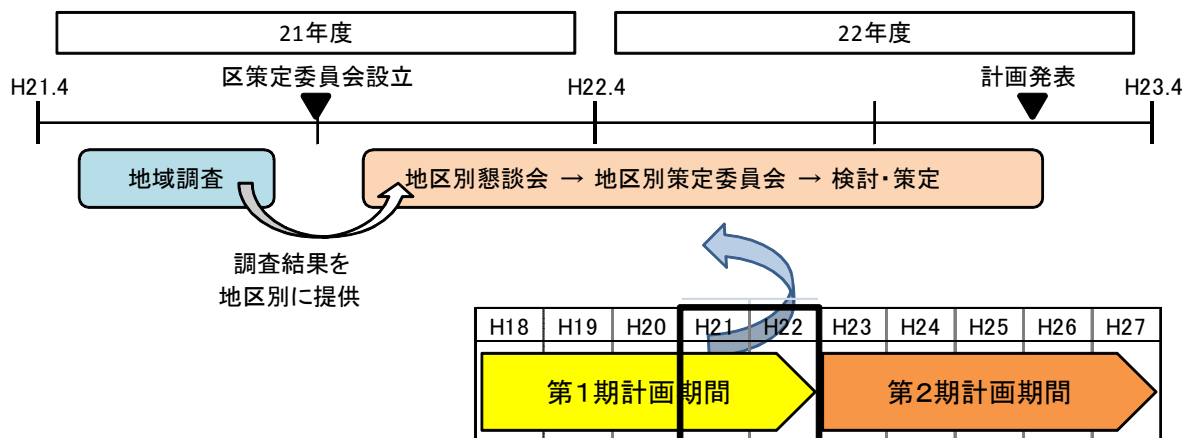


### 3 今後の計画推進と第2期計画の策定について

#### (1) 第2期計画策定のスケジュール概要



#### (2) 第2期計画策定委員会の設置

第2期計画策定委員会を第1期計画推進委員会とは別に設置します。

#### ◆これまでの取組を振り返ったご意見

- ・各地区で活動を実践している人たちが区推進委員会の委員となり意見を反映していくべきである。
- ・スイッチON磯子の事業と、地区社協の事業や地域支えあい事業など地域で従来実施してきた事業との関係を分かりやすくしてほしい。
- ・様々な団体が同様の事業を実施しているので、全体をまとめた形で地域に何が本当に必要なのかを見極めていく必要がある。

※前回の本推進委員会 (H21.2.23) のグループワーク意見、  
各地区推進委員会の3年間振り返りアンケート より

上記のようなご意見をいただいていることを踏まえて、新たに第2期計画策定委員会を設置したいと考えております。

### (3) 第2期計画策定委員会の委員構成

上記(2)の振り返りに基づき、第2期計画策定委員会は次の委員による構成を考えています。第2期計画策定委員会は平成21年10月頃の設置を予定しています。

所 属	
1	磯子区社会福祉協議会
2	連合町内会
3	磯子区医師会
4	磯子区民生委員児童委員協議会
5	磯子区保健活動推進員会
6	磯子区青少年指導員協議会
7	磯子区体育指導委員連絡協議会
8	区内障害者当事者団体
9	区内障害者施設
10	区内ボランティア・市民活動関係団体
11	根岸地区 代表
12	滝頭地区 代表
13	岡村地区 代表
14	磯子地区 代表
15	汐見台地区 代表
16	屏風ヶ浦地区 代表
17	杉田地区 代表
18	上笹下連合地区 代表
19	洋光台地区 代表
20	上笹下地区 代表
21	地域ケアプラザ(地域包括支援センター) 代表
22	地域振興課長
23	福祉保健センター長

なお、事務局体制は、これまでの福祉保健課と区社会福祉協議会だけでなく、区役所が一体となった計画とすることを目指して、新たに「地域力推進担当(地域振興課)」を事務局に加えてまいります。

#### (4) 今後の第1期計画推進委員会（本会）の進め方

第1期計画推進委員会は第1期計画期間満了まで継続いたします。

第1期計画推進委員会（本会）の委員のうち半数以上の委員の方が、第2期計画策定委員会の委員との兼務となることを想定しておりますので、第1期計画推進委員会の次回開催予定は平成22年3月頃を予定しています。

なお、第2期計画策定委員会の審議内容は、その都度、第1期計画推進委員会の皆様へご報告してまいります。

#### ◆平成21年度の会議開催スケジュール（予定）

	平成21年									平成22年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1期計画 推進委員会			●									●
第2期計画 策定委員会							●		●			●

#### (5) 福祉と保健に関する地域調査の内容・取組状況

第2期計画の策定に先立ち、地域の特徴や課題、地域の皆様の思いなどの把握に努め、計画づくりに役立てていくため、『福祉と保健に関する地域調査』を依頼したところです。

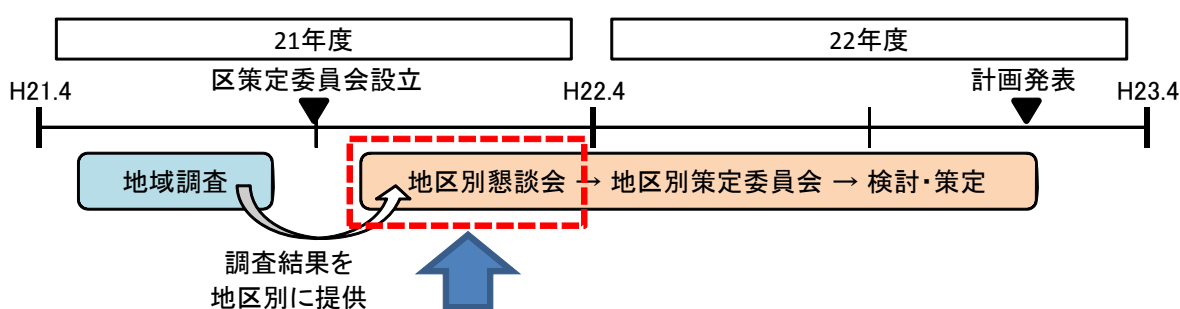
- ①スケジュール   ア   5～6月   アンケート用紙配付  
                      イ   7月5日   アンケート提出締切  
                      ウ   9月以降   アンケート結果報告
- ②対象者           自治会町内会の役員・班長、民生委員児童委員、保健活動推進員
- ③調査内容       別紙のとおり
- ④回収状況       回収 1,372 票／依頼 約 6,000 票（6月16日現在）

## (6) 第2期計画策定懇談会等補助金

各地区の懇談会等の開催を支援するために補助金を交付します。

前回の本推進委員会（H21.2.23開催）で、「意見交換会支援分」として案をお示しした補助金ですが、その後の地区推進委員会の正副会長会などでいくつかのご意見をいただいたこともあり、改めて内容を整理し、名称も変更してお示しさせていただきます。

補助要綱等については、7月に開催する各地区推進委員会の正副会長会にてお示しさせていただきます予定です。



- ①補助目的
- ・上図の点線の囲みでお示ししている“懇談会等”を、各地区において開催していただくこと。
  - ※1 開催にあたっては、可能な限り地区内の様々な立場の方が参加できるよう御取り計らいいただきたいと思ひます。
  - ※2 開催にあたっては、補助目的を満たしたうえで各地区の実情に応じて柔軟に実施していただきたいと思ひます。
- ②補助金交付先
- ・スイッチON磯子「各地区推進委員会」等
- ③対象経費
- ・資料コピー代、会場使用料など懇談会開催にかかる費用。
- ④補助額
- ・3万円～11万円の範囲  
(72万円前後の予算で、均等割額+世帯数按分額にて算出)

(7) 3年間の振り返りアンケートのまとめ

各地区推進委員会の振り返りアンケートからの回答(抜粋)

問1	地区別の取り組みに対する振り返りのため省略	
問2 地区委員会の開催状況	開催頻度	8地区で定例会あり <開催回数> 年2回 1地区 年3回 3地区 年4回 1地区 年6回 1地区 年12回 2地区 その他1地区は随時開催(昨年度は9回) 定例会以外に、事業に併せて開催している。
	参加人数	10人以下 1地区 10～15人 6地区 20～30人 1地区
	部会の有無	部会有り 4地区
問3 一本化した助成金をより使いやすくするためには。	<input type="checkbox"/> 地域支えあい事業の中で、重点取組も推進してはどうか。地区社協の取組と重なる部分あり独自の取組が難しい。 <input type="checkbox"/> 支えあい事業も社協も民児協も同じ対象に向けて活動をしている。補助金を一本化したのであれば、事業そのものを一本化したほうがわかりやすいのでは。 <input type="checkbox"/> 会計項目を各地区で揃えた方が、補助金の使途などが明確になるのではいか。	
問4 地域支えあい事業の位置づけの変更に伴い、地域支えあい事業に影響した点があったか。	<input type="checkbox"/> 主な意見 ・企画する役員はほとんど同じ顔ぶれなので、影響なし。 ・当初戸惑いがあったが、地域支えあい連絡会を「スイッチON磯子」に含まれた組織として事業を展開している。 ・地域支えあい事業のメンバーも一緒に活動できるのでよい。	
問5 担い手や参加者が増えるよう各地区で工夫していることは。	<input type="checkbox"/> 地域情報の収集 ・アンケートの実施。 ・参加者の声を直接聞く。 ・「地域カルテ」の作成。  <input type="checkbox"/> 「スイッチON磯子」の活動の周知 ・直接、参加者に話しをしていく。 ・ポスター、チラシ等の活用。  <input type="checkbox"/> 支援者間の連携 ・ケアプラザ、包括支援センター、地区社協、地域の人材。  <input type="checkbox"/> 対象を絞ってのアプローチ ・事業の参加者への声かけ。 ・中学校への呼びかけ。  <input type="checkbox"/> テーマを明確にして参加しやすくする	

<p>問6</p> <p>3年間取り組んできて感じたことについて、自由にご記入ください。</p>	<p>○評価できる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の異世代交流が始まった。</li> <li>・地域の見守りルートができた。</li> <li>・3年間で重点取組がスムーズに実施できた。</li> <li>・小中学生が企画段階から参加の方向になってきた。</li> <li>・防災防犯意識は高まってきた。</li> <li>・楽しいイベントを企画すると参加者も多くなり、お互いに顔見知りになることができる。</li> </ul> <p>○気づいた点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民がお互いに支えあってこそ「安心安全の町づくり」が始まる。</li> <li>・町内会、自治会との連携が必要。</li> <li>・少年問題は特に難しい。</li> </ul> <p>○改善点／意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者から見ると、社協、支え合い、スイッチON、保健活動推進員活動がそれぞれに行っているため、行事はたくさんある。どの団体が行っても関係なく参加するのみ。</li> <li>回数が多いが内容的にあまり差がない。</li> <li>今後、根本的に見直し、全体をまとめた形で、地域に何が本当に必要なのかを見極め、それに全体の費用をかけるような工夫が必要と考える。</li> </ul>
--	--

【アンケート設問内容】

問3 平成20年度から「地区別重点取り組み事業助成金」と「地域支えあい事業助成金」を一本化し、「地域福祉保健推進活動助成金」となりました。一本化した助成金をより使いやすくするためのご意見がありましたら、ご記入ください。

問4 「地域支えあい事業」は、平成19年5月の実施要綱改正により、“「スイッチON磯子」に基づき実施すること”となっております。このことにより、貴地区の地域支えあい事業に影響した点がありましたらお聞かせください。

問5 今後、地域の福祉保健活動の担い手や参加者が増えるよう、区役所としても「スイッチON磯子」をはじめとした様々な取組を支援していきたいと考えていますが、貴地区で工夫されていることがありましたらご記入ください。

問6 3年間取り組んできて感じたことについて、自由にご記入ください。